

YA21213

年度	配当	区分	科目名	担当教員	回数	単位
2021	後期	基本	簿記論	濱本道正	15	2

授業の目的

職業会計人(税理士や公認会計士)を目指す者にとって、複式簿記の知識と技能は必要不可欠である。この講義では、会計専門職大学院の修了者であれば当然身に付けておくべき基本的な知識として、簿記一巡の手続から企業再編会計、連結会計などについて学習するとともに、新しい会計領域として、金融商品、収益認識、固定資産の減損、リース、退職給付、資産除去債務などを取り上げ、Up to date な知識を習得させる。また、簿記処理技法を身に付けるために、随時記帳練習を実施する。併せて、表計算ソフト等を用いたデータ分析により IT リテラシーの向上を図る。

授業の到達目標

職業会計人を目指す者にとって必要な簿記の基本的な知識と技能を習得することを目標とする。

履修条件

この講義は簿記会計の初学者を主たる対象とするので、履修の前提となる条件はない。なお、簿記の入門レベルを学習済みの者でも知識を再確認するために受講することは望ましい。

授業計画

回	授業内容	日程
1	【簿記一巡の手続と財務諸表】 会計の計算技術的な側面を担っているのが複式簿記である。そこで、企業活動(取引)の二面的記録から始まり決算整理を経て財務諸表の作成に至るまでの簿記一巡の手続について学習する。併せて、損益計算書と貸借対照表が利益計算において相互補完的な役割を果たすことを理解する。	10月3日(日) ②11:10-12:40
2	【現在価値】 新しい会計領域を学習する際に欠かせない知識として、貨幣の時間価値(利子率)の概念に基づく割引現在価値による計算・記帳技術を身に着ける。	10月10日(日) ②11:10-12:40
3	【金融資産】 債権(取得・譲渡の処理、貸倒引当金、手形に関する偶発債務)、有価証券(範囲と区分、取得価額、期末評価)を理解したうえで、デリバティブ(派生金融商品)とヘッジ会計について学習する。	10月17日(日) ②11:10-12:40
4	【収益認識】 2021年4月より適用される「収益認識会計基準」に基づき、契約と履行義務の識別、取引価格の算定と配分、履行義務の充足による収益の認識(一時点での認識と一定期間にわたる認識)という各会計プロセスでの記帳処理について学習する。	10月24日(日) ②11:10-12:40
5	【特殊な販売契約】 買戻契約、返品権付き販売、財・サービスに対する保証、本人と代理人の区分、ライセンスの供与、有償支給取引など、「特定の状況における収益認識」の記帳処理について学習する。	10月31日(日) ②11:10-12:40
6	【固定資産】 有形固定資産の取得原価(圧縮記帳、資本的支出と収益的支出)、減価償却、除却と売却、減損処理、リースの会計・記帳処理について学習する。	11月7日(日) ②11:10-12:40
7	【負債】 負債の範囲と区分、営業上の債務、社債(普通社債、新株引受権付社債)、引当金、退職給付、資産除去債務の会計・記帳処理について学習する。	11月14日(日) ②11:10-12:40
8	【純資産】 株主資本と純資産の関係を踏まえたうえで、払込資本(資本金と資本剰余金、会社の設立、増資、減資、自己株式)、利益剰余金(留保利益と剰余金の関係、剰余金の配当と分配可能額、損失の処理)、評価・換算差額等、株主資本等変動計算書について学習する。	11月21日(日) ②11:10-12:40
9	【包括利益】 包括利益の意義、包括利益と純利益の関係を理解したうえで、その他の包括利益、リサイクルリング(組替調整)、包括利益計算書(1計算書方式と2計算書方式)について学習する。	11月28日(日) ②11:10-12:40

10	【企業再編会計】 企業再編の種類（会社の合併、株式交換と株式移転、会社の分割）を理解した上で、「取得」へのパーチェス法の適用と「持分の結合」への持分プーリング法の適用について学習する。	12月5日(日) ②11:10-12:40
11	【連結会計の概要】 連結財務諸表の会計主体観（親会社説と経済的単一体説）を踏まえて、連結の範囲、投資と資本の相殺消去、のれん、非支配株主持分などの基本事項について学習する。	12月12日(日) ②11:10-12:40
12	【資本連結】 支配獲得時の資本連結（0%からの支配獲得、段階的取得による支配獲得）、支配獲得後の追加取得、子会社株式の売却、子会社の増資など各種の資本連結の手続について学習する。	12月19日(日) ②11:10-12:40
13	【内部取引および未実現利益の消去】 連結会社間取引の相殺消去（債権・債務の相殺消去、貸倒引当金の調整、収益・費用の相殺消去）、未実現利益の消去（棚卸資産に含まれる未実現損益、固定資産に含まれる未実現利益、子会社が計上した未実現利益の負担方法）、未実現利益の税効果会計について学習する。	1月9日(日) ②11:10-12:40
14	【持分法】 持分法の意義と適用範囲を理解したうえで、持分法適用の手続（投資と資本、当期純損益の振替、未実現利益の消去、配当金の修正、持分法による投資損益の表示）について学習する。	1月16日(日) ②11:10-12:40
15	【外貨換算会計】 為替相場と換算方法の関連を踏まえて、外貨建取引の換算、為替予約、在外支店の財務諸表項目の換算、在外子会社等の財務諸表項目の換算について学習する。	1月23日(日) ②11:10-12:40
試験	レポート	

使用教科書／評価方法等

教科書	『財務会計講義』桜井久勝著 中央経済社（第20版以降の版）
参考書	記帳練習用の簿記ワークブック（開講時に指示する）
評価方法	レポート70%、出席を含む授業への貢献度など30%
その他	